

# 『湖南省避難所開設・運営マニュアル』

- 新型コロナウイルス感染症等対策編 -

令和4年度

# 目次

目的・方針	
1 目的	P 1
2 方針	
(1) マニュアルの方針	P 1
(2) マニュアルの構成	P 1
(3) マニュアルの使用想定者	P 1
(4) マニュアルの改訂	P 2
3 新型コロナウイルス感染症対策の考え方	P 2
事前準備	
1 専用スペースの確保	P 3
2 感染症対策物資の確保	P 4
3 緊急時の対応や連絡先の整理	P 4
4 新型コロナウイルス感染症の感染防止に関する避難行動の周知	P 4
避難所開設・運営	
1 避難所施設管理者との調整	P 5
2 避難所運営ルールへの決定	P 6
3 避難所スタッフの安全対策	P 6
4 役割分担	P 7
5 手指消毒アルコールの設置	P 7
6 事前受付・総合受付・各避難スペースへの誘導	P 7
避難所内の感染症対策	
1 衛生環境の維持	P 11
2 感染予防	P 12
3 一般避難者が発熱等の症状を発生した場合	P 13
4 ゴミの処理	P 14
5 避難所内での禁止行為	P 14
6 食事等の配布	P 14
7 感染者等からの要望・相談	P 15
8 避難所閉鎖	P 15
9 支援団体等、来訪者の感染症対策	P 15
様式集・参考資料	
様式第1号(避難者健康チェックシート【事前受付用】)	P 17
様式第2号(避難者健康チェックシート【入所後(毎日)用】)	P 18
様式第3号(相談シート)	P 19

# 目的・方針

## 1 目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）については、依然として収束する見込みがたつておらず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大期状況下において、大地震や風水害等の災害が発生し、避難所を開設した場合に備え、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所対策が必要となっています。

本マニュアルは、避難所における3つの密対策や咳、発熱症状等が出た場合の専用スペースの確保など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防し、避難者および避難所運営に従事する職員等の安全を守るために、従前より整備してきた『湖南省避難所開設・運営マニュアル（令和元年改訂）』を基本に、追加事項として「新型コロナウイルス感染症等対策編」を策定するものです。

また、その他の感染症流行時における避難所開設・運営については、国等から技術的な指導・助言がない場合、原則このマニュアルに準じた対応をとることとします。

## 2 方針

### （1）マニュアルの方針

「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」（内閣府通知）をはじめとする数次にわたる国通知や「新型コロナウイルス感染症対策のための避難所運営ガイドライン」（滋賀県策定令和4年改訂）等を踏まえ、市の対策を講じるものとします。

### （2）マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	概要
	マニュアルの目的・方針、感染症対策の考え方等
	避難所となる施設や市が事前に準備しておくこと。
	災害時における避難所の開設・運営の手順等
	避難所内の感染症対策
	様式集。参考資料

### （3）マニュアルの使用想定者（「湖南省避難所開設・運営マニュアル」2 - 3に準じる。）

避難所運営委員会

市担当者（災害対策本部 避難所支援班）

施設管理者

グループリーダー

代表者・副代表者

班長

避難者

自主防災組織「ふるさと防災チーム」、区・自治会

各地区連絡所

地域代表者

#### (4) マニュアルの改訂

このマニュアルは、新型コロナウイルス感染症対応の検証や他のウイルス感染症の感染拡大の状況等により、適時見直します。

### 3 新型コロナウイルス感染症対策の考え方

新型コロナウイルス感染症対策として、クラスター（集団感染）の発生を防止することが重要です。

このため、避難所における新型コロナウイルス感染症対策は、密閉空間、密集場所、密接場面の3つの密（3密）がそろうような条件を回避し、避難所内でのクラスターの発生を防止することが基本となります。また、咳や発熱症状等が出た場合、速やかに専用スペースへ移動させるなど、避難所運営業務において、感染症対策に疑義が生じた場合は、この基本に沿っているかをまず考えてみましょう。

#### 《3つの「密」を避ける！》

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 換気の悪い密閉空間      | こまめに換気をしましょう！      |
| 2 多数が集まる密集場所     | 可能であれば自宅にとどまりましょう！ |
| 3 間近で会話や発声する密接場面 | 必ずマスクを着用しましょう！     |

**①換気の悪い  
密閉空間**



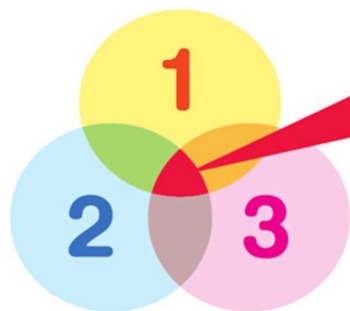
**②多数が集まる  
密集場所**



**③間近で会話や  
発声をする  
密接場面**



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



**3つの条件がそろう場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い！**

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。



# 事前準備

## 1 専用スペースの確保【避難所運営委員会】

災害時には、発熱、咳等の症状があり、感染症の疑いのある人の避難が想定されます。これに加え、新型コロナウイルス感染症の患者の濃厚接触者で検査結果待ちや陰性で健康観察中の人の避難も想定されます。

基本的には、新型コロナウイルス感染症の場合は、原則として一般の避難所に滞在することは適当ではありませんが、軽症者等であっても在宅避難ができないなど、一時的に一般の避難所で受け入れざるを得ない状況も考えられます。

感染者、濃厚接触者、発熱等有症状者（感染疑い者）と、要配慮者、一般避難者は分けて、別の避難所への受け入れが望ましいですが、一般の避難所で受け入れる場合は、専用スペースの設定が必要です。

また、受け入れにあたっては、感染者、濃厚接触者等の人権、プライバシーに最大限配慮することが必要です。

平時から避難所運営委員会では、一般の避難者が滞在する体育館や教室等とは別に、新型コロナウイルス感染症の感染者および発熱等により新型コロナウイルス感染症の感染の疑いのある人等の避難者の専用スペースを設定してください。

専用スペースは、学校施設にある教室や多目的室等を活用します。避難所が学校施設以外の場合は、会議室等を活用します。

PCR検査等で陽性と判定された人、発熱等により新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがある人、濃厚接触者等（以下「感染者等」という。）により、4つのケースを想定し、それぞれの専用スペースを確保します。以下、便宜上、4つのスペースの名称を次のとおりとします。

名称	対象者
A-1	感染者（PCR検査等で陽性と判定された人）
A-2	健康観察期間中の濃厚接触者
B	発熱等有症状者（感染疑い者）
C	要配慮者（高齢者・障がい者・妊産婦等）
D	一般避難者

A-1、A-2に該当する人については、保健所と健康福祉部で連携を取り、原則病院搬送を行います。やむを得ず避難所に来た場合は、専用スペースを一時的に利用します。

また、無症状感染者については、宿泊療養施設の利用についても検討します。

トイレ・手洗い場も感染者等の専用とし、可能な限り一般避難者と動線を分けるようにします。

学校については、児童・生徒が在籍している場合についても考慮し、専用スペースを設定します。

### 避難者の配置基準

1人あたり3㎡を基準（1.5m×2.0m）（就寝・荷物置き場を含む。）

間隔2mを基準（個人、世帯間）

壁から4.5mを基準（建物の構造による。）

収容者数（収容率）は、50%前後になる（目安）。

世帯毎の配置に留意（地区ごとには厳しい。）

最初から一般避難者、要配慮者等を考慮して配置を決定しておくが良い（出入口、トイレの位置、通路等を考慮）。

**大勢の避難者が避難して来る前に処置する必要があるため、避難者の協力が不可欠！**

## 2 感染症対策物資の確保

避難所における感染症対策として、通常の災害用備蓄物資に加え、次の物資を準備しておきます。

### 【市の準備品】

アクリル板防護壁（受付窓口用）	アルコール消毒液（手指消毒用）
非接触式体温計	消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）
ビニールシート	スプレーボトル（消毒液用）
養生テープ、カッターナイフ	除菌シート
パーテーション（間仕切り）	ペーパータオル
段ボールベッド	液体石鹼（手洗い用）
マスク	足踏み式ゴミ箱（フタ付き）
フェイスシールド	ゴミ袋（90L、45L）
使い捨て手袋（ゴム手袋）	ロープ（ビニールロープ）
防護服、手袋、ゴーグルセット	メジャー
レインコート（防護服の代替品）	

避難所開設時に、防災倉庫から取り出し、物品の有無を確認します。

マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋、防護服、手袋、ゴーグルセットは、避難所スタッフ用として準備しています。

### 【避難者の準備品】

通常時の準備品	
マスク	タオル数枚
体温計	ティッシュペーパー
アルコール消毒液	スリッパ（屋内用）
除菌シート	ゴミ袋
液体石鹼（固形石鹼：手洗い用）	

避難所では、感染予防対策を実施しますが、避難者個々の感染予防対策が重要です。

## 3 緊急時の対応や連絡先の整理

発災時に、避難所内で感染の疑いのある避難者が発生した場合に備えて、緊急時の連絡先（保健所等）を整理しておきます。

## 4 新型コロナウイルス感染症の感染防止に関する避難行動の周知

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。避難所の3密（密閉、密集、密接）を防ぐため、市民に対し、避難所への避難だけでなく、避難行動には様々な種類があることを理解していただく必要があります。

避難所以外への避難の検討を進めていただくため、広報、ホームページ等を通じて、以下の点について市民の理解促進を図ります。

## (1) 風水害時

豪雨、台風等の風水害時には、市からの避難情報等を確認の上、避難します。特に、高齢者等避難に時間がかかる人、または、このような人と一緒に避難する人は、自らの避難行動について、早めに検討します。

〔避難方法に関する検討事項〕

- ・ 自宅の場所をハザードマップ（水害・土砂災害）で確認し、浸水または土砂災害の危険のおそれがない場所に居住している人は、自宅に留まり安全を確保することも可能です。
- ・ 浸水想定区域・土砂災害警戒区域内に居住している人は、市からの避難情報等に基づき、避難所等の安全な場所に避難してください。なお、避難情報の発令前に安全な場所にある親戚宅や知人宅に避難する際は、避難先での新型コロナウイルス感染症の感染リスクに十分留意配慮することが必要です。
- ・ 急な豪雨等により、屋外避難が危険な場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに頑丈な集合住宅の上層階等の安全な場所があればそこに移動したりするなど、命を守るための最善の行動をとります。

## (2) 震災時

大規模な震災時には、避難生活が長期化することが予想されます。

避難生活での環境変化による体調不良を起こすこともあります。また、密集を回避する点からも、自宅で居住継続が可能な場合は、「在宅避難」を検討します。

そのため、日頃、家具の転倒・落下防止対策や、水や食料等の必要な物を備蓄（最低3日分）しておくことが重要です。

〔避難所へ避難する際の備え〕

- ・ 避難所に人が多く集まることで、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大するリスクがあります。そのため、避難所に避難する際にはマスクを着用するなど、感染リスクに十分留意します。
- ・ 避難所内での接触機会を減らすため、体温計・消毒液等の衛生品やタオル・歯ブラシ等の清潔品、水・食料等必要な物は、各自であらかじめ確保した上で避難します。

## 避難所開設・運営

避難所の運営に従事する人（他自治体等からの応援職員を含む。以下「避難所スタッフ」という。）は、以下の手順等に基づき新型コロナウイルス感染症に留意した避難所対応を行ってください。

### 1 避難所施設管理者との調整 =今までの避難所開設とは異なることを共有=

開設手順の確認

役割分担

ゾーニング設定（施設ごと）・・・ 発熱者等と一般避難者のゾーン（生活空間）や動線を分けること。

感染者（A-1）、濃厚接触者（A-2）、感染疑い者（B）、

要配慮者（C）、一般避難者（D）

利用ルールの確認

開放する部屋の優先順位

閉鎖時の施設の消毒方法

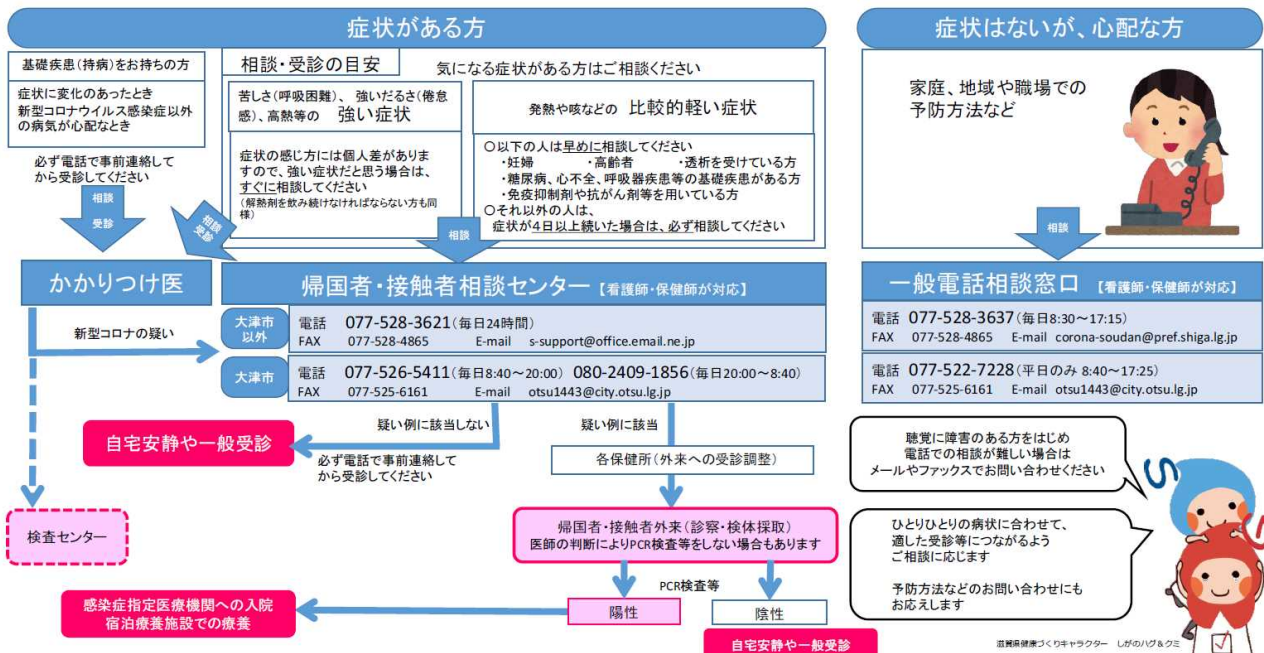
## 2 避難所運営ルール決定 =避難者の協力が不可欠のため、掲示板に張り出す=

- 避難先のレイアウト検討（感染防止対策：ゾーニング）
- 後で連絡がとれる避難者名簿の準備
- 手洗い等利用ルール設定
- 掃除・消毒に関するルールの掲示
- 受付から避難スペースまでの対応
- 高齢者や妊産婦、外国人等要配慮者の対応

## 3 避難所スタッフの安全対策 =感染予防=

- マスク、使い捨て手袋を着用し、新型コロナの感染予防を行います。
- 専用スペース（A・B）の従事者は、フェイスシールドも装着します。
- 手洗いをこまめに行い、適宜アルコール消毒液で手指消毒を行います。
- 定期的に検温を行い、また、自身の体調変化に注意します。
- 発熱、咳等の症状がある場合は、直ちに業務を中断してかかりつけ医を受診するか、電話で相談窓口または健康福祉部（0748-71-2327）に相談します。
- ・症状がある場合 帰国者・接触者相談センター（077-528-3621）
- ・症状がない場合 一般電話相談窓口（077-528-3637）

## 新型コロナウイルス感染症にかかる相談・受診体制





## 4 役割分担

避難所スタッフ間で話し合い、新型コロナウイルス感染症対策の役割分担をしてください。

	班名	役割	人数	内容
	管理班	専用スペースの設営 (主に開設時)	複数人	専用スペースの準備(片付け・仕切り等) 案内や動線の表示
	管理班	事前受付	3人	避難者健康チェックシート(様式第1号)の 記入、避難者の検温、健康状態の聞き取り
	管理班	総合受付	6人	避難者一覧表、避難者名簿の記入、要配慮 者の確認
	総務班	誘導、総合案内	2人	避難者の案内、誘導
	食料物資班	物資調整	2人	マスク、消毒液等の準備・配置・補充
	情報広報班	情報収集、連絡	2人	感染者等の状況把握、相談、要望等の聞き 取り、災害対策本部への連絡等

人数はあくまで目安です。役割も避難所の状況に応じて追加・変更してください。

避難所開設時、は相当数の人数が必要となります。可能な限り各班の協力により対応してください。

## 5 手指消毒用アルコールの設置

次の場所等に設置します。

受付場所

体育館、福祉スペース等避難所(入口、避難所内複数箇所)

トイレの出入口

物資配給場所

その他必要な場所

## 6 事前受付・総合受付・各避難スペースへの誘導

### (1) 事前受付・総合受付

避難所運営委員は、施設外に設置した「事前受付」で避難者全員の検温、健康状態の聞き取りを行い、専用スペースへの案内、「総合受付」への案内に振り分けた上で、それぞれの受付を行います。

受付では、避難者同士の距離が密接にならないよう、床に養生テープ等で目印を付け、間隔をできるだけ2m(最低1m)開けることに配慮します。

「事前受付」において、『避難者健康チェックシート【事前受付用】』(様式第1号)の健康チェック項目に該当のない一般避難者・要配慮者は「総合受付」へ誘導し、健康チェック項目に該当のある感染者・健康観察期間中の濃厚接触者、発熱等有症状者は専用スペースに誘導します。この際、それぞれの動線が重ならないように配慮します。(災害規模により、避難者が少数にとどまる可能性がある場合は、「事前受付」と「総合受付」を分けて設置せず、同じ場所での受付も想定されます。)

また、受入れにあたっては、感染者、濃厚接触者等の人権、プライバシーに最大限配慮することが必要です。

なお、避難所では、避難者のみならず、災害対策本部職員、自衛隊、警察、他自治体応援職員、ボランティア、報道機関等すべての入所者に対し、検温および健康状態の聞き取りを行います。

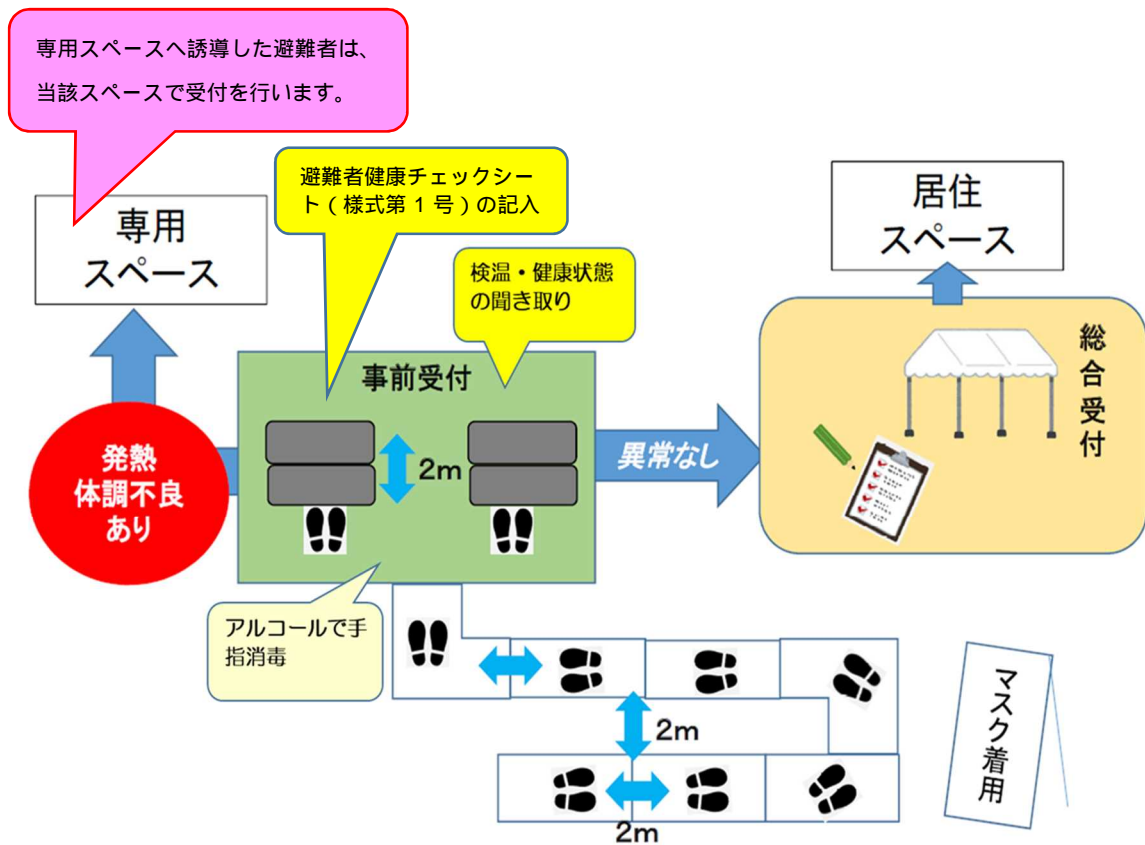
〔避難所での避難者の受入れの基本的な考え方〕

名称	対象者	基本的な対応	誘導先 (受付)
A - 1	感染者（PCR検査等で陽性と判定された人）	可能な限り別棟または別階に感染者待機スペースを設け、そこで待機させた上で保健所に連絡し、病院等の宿泊療養施設への入所を調整します。ただし、移動に危険が伴う場合や受入施設が確保できない場合は、感染者待機スペースで健康観察します。	専用スペース内の受付
A - 2	健康観察期間中の濃厚接触者	濃厚接触者専用スペースで受け入れます。症状が出現し感染が疑われる場合には、医療機関等へ受診させます。	
B	発熱等有症状者（感染疑い者）	発熱等有症状者（感染疑い者）専用スペースで受け入れます。健康観察を行い、緊急性の高い症状がある場合には、医療機関等へ搬送します。	
C	要配慮者（高齢者・障がい者・妊産婦等）	一般避難者用の避難スペースで受け入れます。ただし、障がい者、妊産婦等の配慮が必要な人は、福祉スペースを設けて受け入れることも考慮します。	総合受付
D	一般避難者		

〔受付での必要備品〕

区分	必要備品
事前受付	受付用机、事務用品、クリップボード、養生テープ、避難者健康チェックシート【事前受付用】（様式第1号）、簡易テント・タープ（雨天時等屋外受付用）、手指消毒用アルコール、非接触型体温計、マスク（避難所スタッフ用）、フェイスシールド、使い捨て手袋、掲示用資料一式
総合受付	受付用机、受付用パーテーション（アクリル板）、事務用品、クリップボード、受付関係書類一式、養生テープ、マスク（未着用者配布用）、手指消毒用アルコール、マスク（避難所スタッフ用）、フェイスシールド、使い捨て手袋、配布・掲示用資料一式

## 【受付レイアウト例】



### (2) 避難スペース

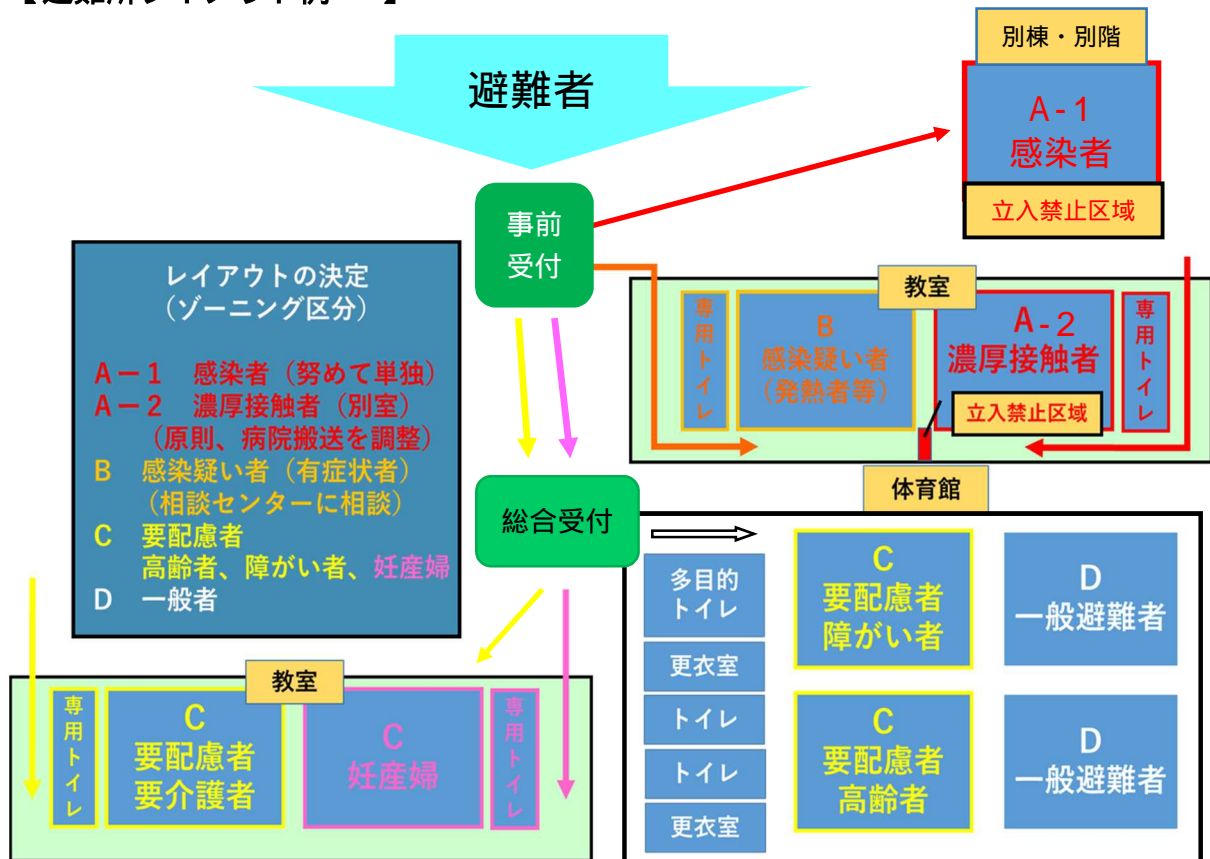
受付後、避難者を誘導する避難スペースは、間仕切りを設置して避難者同士のソーシャルディスタンスを確保しますが、間仕切りがない場合は、養生テープ等で目印を付けるなど避難者同士のソーシャルディスタンスを確保した配置に努めます。

感染拡大防止のためには、一般避難者（要配慮者を含む。）の居住スペースとして利用する清潔な領域とウイルスによって汚染または汚染されているおそれのある領域を明確に区別することが重要です。具体的には、避難所レイアウト例のように、感染者、濃厚接触者、感染疑い者が使用する専用スペース等の空間や動線と、一般避難者（要配慮者を含む。）の使用する避難スペース等の空間や動線を区別してゾーニングします。

発熱・咳等の症状のある人等の感染疑い者は、可能な限り個室にすることが望ましいですが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保します。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をします。

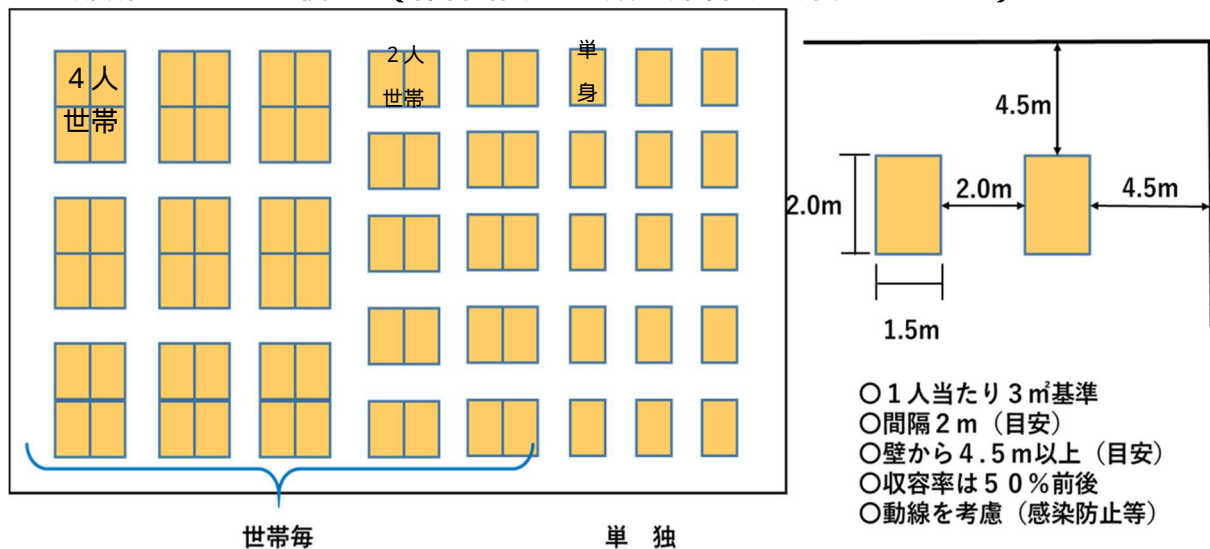
感染者、濃厚接触者は原則個室管理としますが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保します。（感染者、濃厚接触者は、感染疑い者より優先して個室管理とします。）

## 【避難所レイアウト例】



事前受付でA、Bゾーンへ誘導した避難者は、専用スペースで受付を行います。  
 特にA、Bゾーンへは、可能な限り動線も別になるよう工夫が必要です。  
 また、要配慮者や妊婦と離れた位置での対応を行います。  
 換気に特に配慮してください。

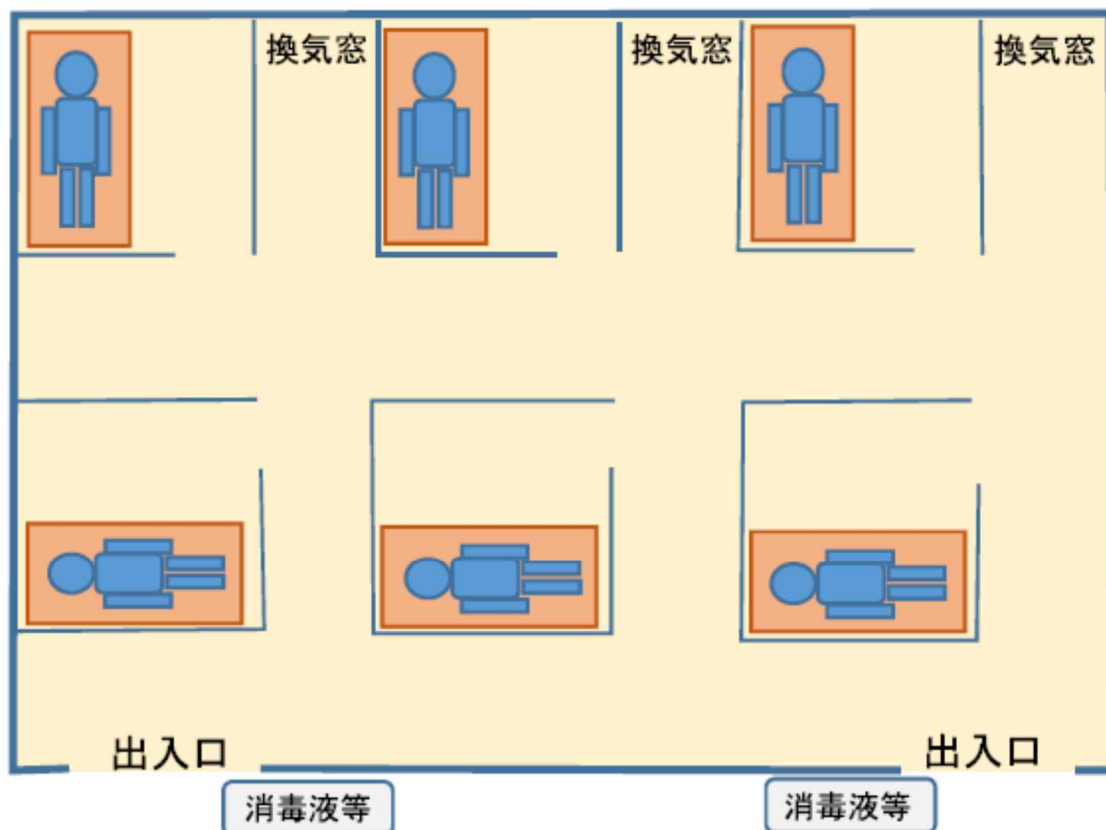
## 【避難所レイアウト例 (体育館等：一般避難者等の滞在スペース)】



避難所施設の規模により壁から4.5mの距離を確保できない場合、2.0m程度の距離を確保するように努めてください。( 出入口側スペースは、極力4.5m確保に努めます。 )  
 パーテーションを利用する場合、少なくとも口元よりも高いパーテーションとし、会話等による飛沫感染防止対策をとることが望ましいですが、防犯対策にも留意する必要があります。

## 【避難所レイアウト例

（教室等：感染者、濃厚接触者、感染疑い者等の滞在スペース）】



パーティションを利用する場合、少なくとも口元よりも高いパーティションとし、会話等による飛沫感染防止対策をとります。また、換気を考慮しつつ、より高いものを設置するように努めます。

## 避難所内の感染症対策

避難者と避難所スタッフへの新型コロナウイルス感染症の伝播を予防するため、次の対策を行ってください。

### 1 衛生環境の維持

避難所内は、内履きと外履き（土足）エリアに分けます。

**換気：**避難所内の通気性を保つため、窓を開け、換気を行います。

- ・避難所内では密閉を避け、常時、窓等を開け外気を取り入れるようにしてください。
- ・常時窓の開放が困難な場合、エアコンを使用する場合であっても1時間に5分間程度換気を行ってください。
- ・大型扇風機等が2台あれば、取り入れた外気を循環させることなどに活用してください。

**清掃：**避難所内の物品および施設等は、除菌スプレーや家庭用漂白剤（塩素系漂白剤）の希釈液に浸したペーパータオル等を使って拭き清掃を行い、避難所の衛生環境をできる限り整えます。拭き清掃は、汚れの少ないところから多いところへ、一方向に拭き、ウイルスを広げないようにします。

### 【家庭用漂白剤（塩素系漂白剤）とは】

一般にハイターやキッチンブリーチ等の名称で呼ばれ、ウイルスや細菌等の消毒効果があります。用途に応じて必ず水で薄めて（希釈）して使います。誤った使用により有毒ガスが発生するおそれがあるため、製品の取扱説明をよく読み、注意して扱う必要があります。

手指の消毒には絶対に使用しないでください。

### 〔清掃の頻度の目安〕

場 所 等	頻 度
居住スペース	1日1回（最低限）
トイレ	できるだけ頻繁に
炊事場、おむつ交換スペース	基本的に使用の都度
人がよく触れる場所	定期的に（不特定多数の人が触れる場所は1時間に1回程度）
ゴミ	毎日回収。必要に応じてゴミ箱を消毒

**吐物の処理：**嘔吐物等の清掃は、嘔吐物を取り除いた後、消毒液（家庭用漂白剤 濃度0.1%）を浸み込ませたペーパータオル類で拭きます。

## 2 感染予防

外出から戻った時、多くの人に触れたと思われる場所を触ったときなど、こまめな手洗い・アルコール消毒を徹底するように周知するとともに、咳エチケット等基本的な対策について周知・徹底するとともに、手洗い時はタオルやハンカチの共用は避けます。手を拭くものがないときは、自然乾燥させます。個人の携帯電話の貸し借りも避けてください。

避難所内には、感染予防に関するポスターの掲示、定期的アナウンスを行うなど注意喚起を促します。

### 〔手洗い・アルコール消毒のタイミング〕

- ・マスク着脱の前後
- ・傷口に触れる前後
- ・嘔吐物・便等、身体から出てきたものを片付けた後
- ・鼻汁に直接接触した、または汚れのついたティッシュに触れたとき
- ・食事準備の前
- ・飲食の前
- ・顔や口に触れる前後
- ・トイレの前後
- ・清掃の前後
- ・汚れた衣類や寝具に触れた後
- ・ドアノブ、机（テーブル）、いす、スイッチ、パソコン、タブレット、事務用品等の共用部分に触れる前後
- ・おむつを替える前後、子どものお尻を拭く前後
- ・病人の世話の前後、ケガ人の手当の前後
- ・ゴミを取り扱った前後
- ・使い捨て手袋を脱いだ後



〔感染予防に関するポスター例〕



各避難者（家族の場合は家族単位）には、できるだけ距離を開けて過ごすとともに、避難者同士の交流は極力避けるよう伝えます。（3密の回避）

避難者に対し、『避難者健康チェックシート【入所後（毎日）用】』（様式第2号）による毎日検温や体調管理を行い、発熱等の症状があった場合は、直ちに申し出るように周知します。

マスクを着用していない避難者には着用するよう声をかけ、マスクが無い避難者にはマスクを渡し着用させます。マスクは、一度着用したら首から上（特に目・鼻・口）を触らないように気をつけます。

また、マスクを一時的に外したときは、共用テーブルの上等に置かず、可能であれば、きれいな袋に入れておくなどします。

避難所スタッフのマスクは、避難者分とは別にして必ず確保しておきます。

トイレのドアノブ、ペーパーホルダー、水洗レバー、便器フタおよび便座等については、消毒液（家庭用漂白剤 濃度0.1%）を浸み込ませたペーパータオル類で拭きます。

〔念入りに清掃すべき箇所〕

- ・洗面所の蛇口、洗面台
- ・トイレのドアノブ、ペーパーホルダー、水洗レバー、便座、便器フタ、スイッチ類
- ・ドアノブ、引き戸の取っ手、スイッチ類、テーブル、いす、エレベーターのボタン、手すり、受話器、リモコン 等

**3 一般避難者が発熱等の症状を発した場合**

一般避難者が、発熱、咳、息苦しさ（呼吸困難の場合は救急車を呼びます。）、強いだるさ（倦怠感）等の症状を訴えた場合は、スペースBへ移動（別室（個室）が確保できない場合は、パーティション等の間仕切りを使用するなど、個室に準じた場所での滞在に努めます。）、新型コロナ受診相談窓口にご相談します。

重症化しやすい人（ ）は、発熱や咳等の比較的軽い風邪症状がある場合も相談します。

高齢者、基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等）のある人や、透析を受けている人、免疫抑制剤や抗がん剤等を服用中の人等

避難者全員の検温および健康状態の聞き取りを行い、他に症状を発している人がいないか確認します。検温等により、症状が確認された避難者は と同様に取り扱うものとします。

症状を発した避難者の居住スペースや避難所内の物品等については、消毒液（アルコール消毒液または家庭用漂白剤 濃度0.05%）を浸み込ませたペーパータオル類で拭きます。

#### 4 ゴミの処理 =ゴミは、素手でさわらない事=

避難所内の良好な衛生環境を保つため、フタ付のゴミ箱を設置するとともに、ゴミはあふれさせないよう避難者に周知します。

ゴミ袋からこぼれたゴミは、感染予防のため素手では拾わず、清掃用具等を使用します。廃棄の際は、ゴミ袋の口をしっかりと閉じ、あらかじめ決められたゴミ集積場所に、感染者等の専用スペースから出たゴミ袋（表示をする）と分けて置きます。

#### 5 避難所内での禁止行為

避難者が次の行為を行っている場合は、直ちにやめるよう注意してください。

息が上がるような運動

大声を出す、歌う。

マスク未着用での会話

特に食事中はマスクを外すため、会話を控えるよう避難者に周知してください。

#### 6 食事等の配布

給食や日用品等の配布時は、避難者同士の密集および避難者への直接の手渡しを避けるようにします。

食料物資班は、手洗い、手指消毒の上マスク、手袋、フェイスシールドを着用します。

配給場所となるテーブル等は、消毒液（アルコール消毒液または家庭用漂白剤 濃度0.05%）をペーパータオル類に浸み込ませて拭き、飛沫感染を避けるためビニールで仕切りを作ります。

ボランティアによる炊出しがある場合は、ボランティアの検温および聞き取りを行い、手指消毒のうえマスク、手袋を着用させて従事させます。

配給場所が密集しないように、避難者をいくつかのグループに分け、グループごとに時間差を置いて配給場所に案内するようにしてください。

給食時、配給場所が密集しないよう、避難者に1～2mの間隔を開けさせて1列に並べるなどの誘導を行います。

アルコール消毒液を用意し、並んでいる避難者にマスクを着用してもらい、給食を受け取る前に手指消毒を行わせます。

給食を渡すときは、1度テーブルに置いてから避難者に受け取ってもらうなど、手渡しを避けるようにします。

食物アレルギーを防ぐため、原材料の包装や献立表を掲示して正確な情報を提供します。

感染者等が残した給食は、他の残食と区別して、ゴミ袋に「感染対応」等として表示します。

衛生管理として、生活環境課と連携します。

#### 〔感染者等への配布〕

専用スペース出入口付近に机等で配布場所を設けます。

物資を渡す場合は、接触しないように配布場所に物資を置き、避難者に取りに来てもらうようにします。



### 〔在宅避難者への配給〕

在宅避難者に、アルコール消毒液で手指消毒を行わせます。

受付で検温・健康状態の聞き取りを行い、問題が無ければ、配布場所を案内します。

自宅療養中の新型コロナウイルス感染症の感染者およびその同居の家族等の濃厚接触者、上記により発熱等が確認された避難者（「在宅感染者等」）については、受付から離れた場所に待機させ、避難所スタッフが必要な物資を配布場所で受け取り、玄関前や部屋の前に置いたものを取ってもらうなど、できるだけ対面しないよう工夫して避難者に渡します。

## 7 感染者等からの要望・相談

感染者等から、生活用品等の要望や避難生活における相談を受ける場合は、以下の手順にそって対応してください。

感染者等からの物資の要望は、相談シート（様式第3号）に記載してもらい、封筒等を利用した回収袋に入れてもらうようにして、**対面による聞き取りは行いません。**

相談シート（様式第3号）を回収し、必ずマスク・使い捨て手袋・フェイスシールドを着用の上、内容を確認し対応します。

生活用品等の物資の要望については、配布場所に要望の物資を置き、声をかけ受け取りに来てもらいます。

医療・健康に関する相談等は、医療救護班職員に引き継ぎます。

使用した相談シート（様式第3号）は、ビニール袋に入れて保管します。なお、個人情報に関するものもあるので、取扱いおよび保管場所の選定には十分注意します。

## 8 避難所閉鎖

災害対策本部からの指示を受け避難所を閉鎖する場合は、次のとおり対応してください。

避難所の撤収作業を行う際は、マスク、手袋を着用します。

感染症者等が出したマスク等のゴミについては、他のゴミと区別がつくように、ゴミ袋に「感染対応」等の表示をします。

施設の原状回復にあたっては、保健所と相談の上、避難所内の必要な個所および感染症対応に使用した資機材の消毒を行います。

## 9 支援団体等、来訪者の感染症対策

災害時は、他の自治体職員、医療・福祉関係の災害時派遣職員、ボランティア等が支援に来ます。また、マスクの取材や避難者の身内が避難所に尋ねてくることもあります。このような場合も、避難者の受付と同様に、手指消毒およびマスクを着用の上、検温、健康状態の聞き取りを行ってください。

〔留意事項〕

- ・避難所のマスクは、避難所スタッフ（応援職員も含む。）および避難者用ですので、来訪者には渡さないでください。
- ・来訪者が検温等で問題は無いもののマスクを用意できない場合は、避難所内には入れず訪問先の避難者を呼び出すなどの対応をしてください。
- ・来訪者が検温等で問題があった場合は、医療救護班職員の指示を受けてください。

## 樣式集・參考資料

---

## 避難者健康チェックシート【事前受付用】

太線内をご記入の上、事前受付にご提出ください。( 5人以上の世帯の場合、2枚目を使用してください。)

世帯代表者(世帯主)氏名		世帯人数	人
連絡先(携帯電話)			

世帯員氏名					
世帯代表者(世帯主)との続柄					

チェック項目	の回答欄	の回答欄	の回答欄	の回答欄	の回答欄
1 新型コロナウイルス感染症の陽性者と判定され、現在、経過観察中ですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
2 新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者で、現在、経過観察中ですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
3 PCR検査を受け、現在、自宅待機中ですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4 直近14日以内に海外から帰国し、健康観察中ですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
5 普段より熱っぽく感じますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
6 呼吸の息苦しさ、胸の痛みはありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
7 においや味を感じないですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
8 咳、たん、のどの痛みはありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
9 全身がだるいなどの症状はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
10 吐き気はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
11 下痢はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
12 その他、気になる症状はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

## 避難所スタッフ記入欄

13 体温					
14 その他、備考					

避難所名		受付者氏名	
受付年月日・時刻	年 月 日( )	時 分	

## 避難者健康チェックシート【入所後(毎日)用】

避難者氏名		世帯番号	
-------	--	------	--

チェック項目		/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (土)	/ (日)
1	体温 できるだけ同じ時間に測ってください。 症状がひどくなった時も図ってください。	朝	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)
		昼	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)
		夜	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)	( 時 分頃)
2	呼吸の息苦しさ、胸の痛みはありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
3	においや味を感じないですか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4	咳、たん、のどの痛みはありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
5	全身がだるいなどの症状はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
6	吐き気、嘔吐はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
7	腹痛、下痢はありますか？	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
8	その他の症状、体調面で気になることがあれば記入してください。							
避難所スタッフチェック欄								
備考								

## 相 談 シ ー ト

ご相談・ご要望がありましたら、このシートにご記入いただき、避難所スタッフに渡してください。  
 なお、内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、ご了承ください。

避 難 者 氏 名	
連 絡 先 ( 携 帯 電 話 )	
専 用 ス ペ ー ス	A - 1 ( 感 染 者 ) ・ A - 2 ( 濃 厚 接 触 者 ) ・ B ( 感 染 疑 い 者 ) ・ C ( 要 配 慮 者 ) ・ D ( 一 般 避 難 者 )

避難されているスペースに を付けてください。

\_\_\_\_\_ 年    月    日

避難所スタッフ記入欄

処 理 日 時	_____ 年    月    日 (    )    時    分
処 理 者 ( 避 難 所 ス タ ッ フ 担 当 者 )	_____
対 応 内 容	